

1.自己紹介

私は、「鹿児島いづみ農業協同組合アグリセンター」で施設イチゴの研修生の面高 丈二（おもだかじょうじ）36歳です。出身地は、地元出水市で、市内の建設会社で約15年間社員として勤務。令和7年8月に研修生となりました。



2.研修に参加した理由

昔からイチゴが大好きで興味を持っていて、いつかは自ら栽培したいと考えており、家族の同意もあったことから、結婚を機に地元の研修施設であるアグリセンターに応募しました。

3.研修内容について

研修品目は、ビニールハウス（無加温）を利用したイチゴです。研修当初は、農業と関わりがなかったので、農業の基礎を教わりながら手探りで作業を行っていました。JA管内には、イチゴ部会のメンバーが20名程いて、それぞれの部会員の現地研修やJA管農指導員のマンツーマンによる指導をしていただいたことが大変参考になりました。

1年間の研修後に就農しなければならぬので、まずは、実践的な技術習得に日々努めています。12月から収穫が始まり、選果、パック詰め作業が5月まで続きます。反収4tを目指して頑張ります。



収穫作業中 12月から5月まで続く



品種：さかほのか

4.将来のビジョン

令和8年8月からは、農業者になります。

当面、就農時の栽培面積は8aを計画しており、既に、中古ハウスを就農予定地に建設中です。栽培技術を磨きながら、将来的には経営面積を拡大するつもりです。販売先については、まずは生産技術の確立を優先し、JA共販に委ねます。

5.これから就農を目指す人へのメッセージ

農業は魅力ある職業だと思います。後悔しないよう、好きなこと、興味があることにチャレンジしてほしいです。そのためには、生産技術を習得する必要があるので、研修施設等で学ぶことが重要だと思います。

また、就農するためには、生活資金のほか、当面の運営資金を準備することも重要です。研修施設や関係機関の方にもいろいろと相談してみてください。

研修先：鹿児島いづみ農業協同組合アグリセンター（出水市高尾野町大久保2525番地1）

担当者：JA鹿児島いづみ管農支援課 谷川課長

連絡先：電話：0996-68-1038 e-mail: izm-e-sidou01@ks-ja.or.jp